立命館大学人文科学研究所紀要

No. 128

目　　次

小特集①：デリダにおける「ポレモス」の思想と 20 世紀フランス

巻頭言
…… 亀　井　大　輔（ 1 ）

閉域に滞留し、歴史を展開する
—松田智裕『弁証法、戦争、解読』に寄せて—
…… 小　川　歩　人（ 3 ）

現象学的弁証法の彷徨
—松田智裕『弁証法、戦争、解読　前期デリダ思想の展開史』に寄せて —
…… 渡名喜　庸　哲（ 25 ）

戦争の弁証法？
—『弁証法、戦争、解読』を読む—
…… 松　葉　祥　一（ 41 ）

応答と課題
—デリダをさらに「解読」するために—
…… 松　田　智　裕（ 53 ）

小特集②：立命館大学間文化現象学研究センター／東京大学共生のための国際哲学研究センター共同主催シンポジウム「ひとはいかにして思考するのか？——バタイユ、ブランショ、ナンシー」

巻頭言
…… 山　野　弘　樹（ 69 ）

さらに先へと進んでいくこと
—バタイユにおける非 - 知と賭け—
…… 横　田　祐美子（ 71 ）

ブランショとパンセについて
…… 髙　山　花　子（ 87 ）

眠りと思考
—ジャン＝リュック・ナンシーにおける思考のリズムについて—
…… 伊　藤　潤一郎（105）

論文

対話としてのケア
—ハイデガーにおけるケア論の可能性とその展望—
…… 黒　岡　佳　柾（125）

翻訳

超え出るための限定
—変様によって己を創設する「原スクリーン」という主題—
…… マウロ・カルボーネ（151）
訳：佐　野　泰　之

2021年11月

立命館大学人文科学研究所